

地域医療構想策定ガイドラインについて、「あくまでも参考として」のものであると言ってくれる人もいる。私もそのようなものであって欲しいと思う。

しかしこれは、法律なのである。法律といえ、約 30 年前に発効した「地域医療計画」がある。2 次医療圏内の法定病床数を国が規定したものである。発効前は「自由主義国家で病床を国家が厳しく規制することなどできない」と言われていたにも拘らず、発効したとたん、病床過剰区域では一切の新しい病床が許可されていない。法律とは恐ろしいもので、作った官僚さえその法律に縛られてしまう。今度の病床機能報告制度を基にした地域ごとの機能別病床が決められた瞬間からその法律自体が動き出すのだ。

5 月にアメリカの医療状況を見てきた。どう比較しても日本の医療制度が優れている。一見曖昧模糊とした制度の中にこそ、日本の成果がある。しかし、3 月 4 日の中協に提示された資料の中に、「一般病床や療養病床で退院できそうな人はどの位いるか」とのアンケートに病院が自主的に 11 万人以上いると答えたグラフがあった。自らそう思うのだから、実際はもっと多くの患者がいるということではないだろうか。

日本では、まだ 20 万～30 万床の病床が過剰だろうと想定される。医療療養病床 20:1 は医療区分で規制されているから、そんなに社会的入院が多くはないだろうが、それ以外の一般病床や医療療養病床 25:1 や介護療養病床を持つ病院の経営者の中に自らそう思っている人たちの多いことを示している。

実際にオンラインレセプトでのデータにより明らかに入院の必要ないと認められるようになれば、空恐ろしいこととなる。

外国に比べて異常に病床が多いと言われることは、病床を住宅政策に代用してきた過去の経過があり、まだ十分にその整理が終わっていないことを意味する。一ヶ月間に何の検査もしないで、処方変更も全くなく、リハビリも 1 日ほんの少ししかしていない患者がいたら、間違いなくデータにより入院は必要なしと判定されるのである。

重度心身障害や難病の人達の為の病床は必要であるが、介護施設で入所可能な患者は移行すべきだし、さらに介護施設から人為的在宅に移行すべきであろう。

しかし移行すべきは、療養病床より一般病床のほうにより多いことを表している。いよいよ一般病床、療養病床と分けている必要は全く存在しなくなっている。病床は、急性期・地域包括期・慢性期の 3 つに分類すれば間違いなく非常に分かりやすく、その病床にいる患者の想定が可能である。

しかし病床を介護施設や人為的在宅に転換しろと言っても、そこに入院している患者がいっぱいいるし、それらの病床を運営することで経営が成り立っている病院も多い。それらを一方的に崩壊させるわけにはいかない。そのために病床移行に対して、診療報酬による誘導だけではなく、医政局による政策誘導が必要と考える。

医療の現場は政権の意向のもとに現在まで医業を営んでいる。医療の現場が悪い訳では全くない。医療人は皆誠実に医療を行ってきている。自院の病床を急性期から移行させたり、慢性期から施設に移行する病床には補助金（転換奨励金）をつけてでも移行しやすく、改革後も医療人や患者が路頭に迷わないようにすることは考えてもらわなければ、力づくのガイドラインでは、かえってうまくいかないことを政府は認識すべきである。

そうすれば、予算が増えて大変だと思えるかもしれないが、一時的なものであり、将来の日本を考えると一日も早い改革は必要である。単に現状がよいと駄々をこねて反対するひとたちもいるが、こと国の将来がかかっていることを理解して医療の現場も考え方を変えていかなければならない。

すでに国民の意識は病院に入院したらできるだけ長くいようなどとは思わなくなっている。国民の意識のほうが、はるかに前を行っていることを感じなければならない。

入院患者が感染症などの他の新しい病変があらわれても、ほとんど治療しないような病院は病院ではない。老人収容所にすぎない病院は存在し得ない。施設より病院に入院しているという方が聞こえが良いから入院させているような患者が病床を占拠してよいと思わない人達が次第に多くなってきている。

時は待ってはくれない。もう地方ではすでに 2025 年に到達しているのだ。

医療の改革なくしては日本の改革は進まない。

良くなる見込みがない重度の病状ならターミナルを考えるべきであろうが、少なくとも QOL を持ちながらターミナルを本人が希望する患者の居場所は病院ではない。間違いなく施設であろう。治療も何もしない患者が病床をふさいでいる現状も問題になろう。病院とは病気を治そうとする人たちの来る場所であり、病院とは治療をする場であることは明白である。ターミナルを看取る場所は病院とは別にターミナル施設を考える方がよい。